



多様な事業所での 火災図上訓練の推進と実施



愛知県 名古屋市消防局

事例類型	I 実効性向上 / II 高度化・専門化 / V 人材育成
取組期間	平成31年4月から

背景

認知症高齢者グループホームや大規模倉庫での火災では火災時の初動対応の問題が指摘され、過去に多数の死傷者が発生した火災においても、初期消火の未実施、通報の遅れや防火区画の未形成といった初動対応の遅れが被害拡大の一因と言われている。

過去の火災の教訓を生かすためには、積極的に消防訓練を推進していく必要があるが、その中において”マンネリ化”、”シナリオ型”、”地震訓練偏重”といった訓練の形骸化を廃し、事業者自らが防火の問題点を見つめ、その対応策を自らが計画し、実訓練を通じて検証評価することのできる「PDCA型の消防訓練」が求められている。

内容

名古屋市南消防署では、事業所での「PDCA型の消防訓練」を促進していくためには、まずは事業所関係者自らが防火や火災初期対応の課題に気づくことができる「火災図上訓練」を幅広い事業所で行ってもらうことが重要と考え、これまでの事業所に対する訓練指導のあり方を見直し、事業所への訓練実施に向けた働きかけを進めた。

1 署内勉強会

予防課員の若年化により「火災図上訓練」を実際に行った者が少ないため、署内で職員教養を行うことから始めた。火災図上訓練に関する情報をインターネットや文献*から学びなおし、まずは警防課員や社会福祉施設を対象に訓練実習を行った。

* 参考文献等「高齢者福祉施設の夜間火災時の防火・避難マニュアル」
「病院等における実践的防災訓練ガイドライン」

2 防火特別講演会「火災図上訓練のすすめ」の開催

区内の事業者へ火災図上訓練への理解を深めていただくため、高齢者福祉施設火災と火災図上訓練について研究されている日本福祉大学の村井裕樹准教授を講師に、防火特別講演会「火災図上訓練のすすめ」を開催した。

講演会後のアンケートでは、回答の87.4%で火災図上訓練は「有効(どちらかと言えば有効)」となった一方、火災図上訓練の実施要望は66.3%に留まり、「多忙で時間がない」「多数の参加が困難」「図上訓練をやったことがなく不安」と、実施に対する不安の声が多く寄せられた。

講演会「火災図上訓練のすすめ」講師：村井裕樹准教授



3 幅広い事業者への広報

「準備簡単で効果あり!やってみませんか!」

まず火災図上訓練を体験していただくことを旨に、業種や用途・規模にかかわらず、幅広く訓練の体験を呼びかけた。

また、リーフレットを作成し、立入検査や消防署窓口、業界団体の会合等においても広報を実施し「火災図上訓練」の実施を推進した。

広報用リーフレット



4 火災図上訓練の実施

火災図上訓練は少人数かつ短時間で行うことができ、最低限の図面や筆記用具があれば、事前にシナリオを作成することなく実施することができる。その気軽さも功を奏し、防火特別講演会や各種会合等での広報の後、数か月の間に30以上の事業所で火災図上訓練を行なうことができた。

成果

これまでの訓練は、想定やその対応が予め与えられた「シナリオ型」訓練となり、社員の「問題意識」や「参画意識」が育ちにくかったが、火災図上訓練を行うことによって、社員自らが防火の課題を「発見」し、事業所の実情に応じた「対応」を議論する機会となった。いずれの事業所でも防火意識を高めることに成功し、予防課員の指導能力向上にもつながった。

【参加者から寄せられたコメント】

- ・社員に防火防災に対する問題意識が芽生えた。
- ・後日行われる実訓練の質が高まり、実訓練が火災対応「検証」訓練となった。
- ・火災図上訓練を通じて、社員同士、テナント関係者同士が課題を見つけ、対応を考えることで建物内のコミュニケーションに新風を送り込むこととなった。
- ・防火管理組織の強化につながった。

多様な事業所で火災図上訓練を実施

ショッピングモール 危険物事業所 大規模工場 中小病院



【火災図上訓練を行った予防課員の感想】

- ・消防と共に「課題に気づいた」ことに現場の従業員から感謝され嬉しかった。
- ・防火規制の歴史的背景やその意義を説明できるようになった。
- ・コミュニケーション能力やコーチング能力が高まった。
- ・各種防火設備の取扱い方法や機能に関する知識が深まった。
- ・消防用設備等の設置意義を「基準だから」ではなく「防火のため必要だから」と説明できるようになった。

名古屋市南消防署 Team KzK



特記事項

今後も次の方策により火災図上訓練を推進する。

- 事業者が自発的に火災図上訓練を行う体制を確立し、火災図上訓練の輪を広げるため、火災図上訓練ファシリテーター(進行役)養成講座を開催する。
- 予防課員が多様な事業所で行ってきた図上訓練の反省事項や改善事項を取りまとめて図上訓練ノウハウ集を作成する。
- 各種会合や訓練、立入検査等のあらゆる機会をとりえ、推進広報を行う。